

〈活動内容〉 無制限遊び

ホールいっぱいに広げられたロール紙の周りに、座って講師のお話を聞く子どもたちテーブルに並べられた米粉粘土とカラフル寒天、そして、色とりどりの絵具…子どもたちはくぎ付け、わくわくがとまりません。



無制限遊びとは？

子どもたちの五感・感性の発達を促す遊び。絵の具で色が変わっていく様子を見たり、初めての感触に触れて脳の刺激を促す。

日常の「それやっちゃダメ！」から解放されて好きなように遊び、その経験が、これからの時代を生き抜く人間力に繋がると、講師の先生は、おっしゃっています。



温かい米粉粘土

冷たい米粉粘土は、おそろおそろだったが、温かい方は、じっと手を入れて温かさを楽しんでいた。「あったかーい」「マヨネーズみたい」とほっとした表情を見せる子もいる。

ローラーを提供してもらうことで、紙に粘土を広げたり、遊びが広がってくると、足の裏に粘土を塗って紙に足形を押して、楽しむ姿も見られた。そのうち、職員の足にもローラーを走らせ、「それやっちゃダメ」から解放された子どもたちから、笑顔と興奮した歓声が飛び交った。

赤と黄の食紅を混ぜてオレンジピンクになると「みてみてきれい」「にじみたい」と友達に話しかける。



カラフル寒天遊び

型抜きを子どもたちにランダムに配布。型抜きを埋め込んで取り出すことは難しそうであったが、固めの感触で握りつぶして遊んでいた。

紙コップや、スプーンを使って、パフェ屋さん、ゼリー屋さんになると、

「はいどーぞ」とやり取りが始まる。とにかくこんなに長時間、遊びこめる子どもたちを見て、感動した職員でした。

